

## Gard セミナー（用船者と貿易業者向け）で討議された海賊問題

### *Piracy discussed at Gard seminar for charterers and traders*

2011年5月5日、Gardはジュネーブのスイソテルメトロポールホテルにおいて、用船者と貿易業者向けの第6回年次セミナーを開催しました。今回は、スイス、フランス、イタリア、ベルギー、英国、オランダなど、ヨーロッパ各国から87名のゲストが招待されました。

クライアント、ブローカー、その他の貿易関係者が参加し、Gardの商品開発や業界に影響を及ぼす現在の課題について話を聞きました。

Gardスタッフによるプレゼンに加えて、船長経験者の Marc Nuytemans 氏による基調講演が行われました。同氏は Exmar Shipmanagement 社の最高経営責任者（CEO）、アントワープ海洋管理機関の教授兼講座コーディネーター、ベルギー王室船主協会の前 CEO などを歴任しています。

同氏は、「海賊: 海のソプラノ」と題した講演のなかで、海賊のビジネスモデルを詳細に考察し、ソマリアには海賊に代わる合理的な経済活動がなく、同国の破たん状態が続く限りにおいては、状況の改善は見込まれないだろうとの見方を支持しました。

同氏は公海における不十分で非効率な軍事介入を挙げ、船舶の武装乗組員あるいは民間警備会社のスタッフでは解決策が見いだせないと指摘しました。

また、海賊事件発生時にしばしば起こる用船者と船主との緊張関係についても言及がありました。そして、船主、用船者、荷主が、海賊という共通の敵に直面しているが、おそらくそのいずれも解決策を持ち合わせていないため、各国政府が軍事介入の強化と組み合わせて、ソマリア向けの大規模な救済プログラムを協調して実施すべきであるとの主張が示されました。しかしながら、ソマリアには重要な天然資源がないため、いずれの政府にとってもソマリアの救済

が優先順位の上に挙げられることはなく、したがって、この問題は未解決のまま、相当長期間にわたり継続する可能性があるとの見解が示されました。